

ビジョン指標の進捗一覧(水道事業)

方針	目標	指標名	令和元年度	現状 (令和2年度)	中間目標値 (令和5年度)	最終目標値 (令和10年度)
安全	安全・安心な水づくり	水質基準不適合率	0%	0%	0%	0%
	水道水の品質の向上	平均残留塩素濃度	0.30mg/ℓ	0.31mg/ℓ	0.40mg/ℓ	0.40mg/ℓ
		最大カビ臭物質濃度 水質基準比率	20%	30%	40%	40%
強靱	施設の更新・耐震化	浄水施設の耐震化率	12.1%	12.1%	12.1%	78%
		配水池の耐震化率	21.5%	21.5%	20.8%	100%
	管路の更新・耐震化	基幹管路の耐震化率	27.8%	29.0%	36%	50%
		配水支管の耐震化率	28.4%	29.3%	28%	30%
	危機管理体制の構築	上下水道BCPに基づく 訓練の実施回数	4回/年	3回/年	2回以上/年	2回以上/年
		災害用応急給水栓	6箇所	11箇所	25箇所	25箇所
	施設の機能維持	有収率	95.3%	95.1%	95.0%以上	95.0%以上
持続	持続可能な経営	経常収支比率	120.7%	110.6%	100%以上	100%以上
		料金回収率	111.2%	101.1%	100%以上	100%以上
	お客さまとの コミュニケーション	広報誌発行回数	1回/年	2回/年	2回/年	2回/年
		アンケートの実施	1回/年	2回/年	定期的に実施	定期的に実施

【安全・安心な水づくり】・【水道水の品質の向上】の目標におけるR2年度の実績値

指標名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	中間目標 (R5)	最終目標 (R10)
水質基準不適合率 ※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均残留塩素濃度 ※2	0.46	0.48	0.48	0.51	0.46	0.41	0.31	0.30	0.31	0.40	0.40
最大カビ臭物質濃度 水質基準比率 ※3	0	20	40	40	50	80	30	20	30	40	40

測定月 (R2年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水質基準不適合率 (月毎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均残留塩素濃度 (月毎)	0.31	0.31	0.27	0.32	0.33	0.32	0.28	0.29	0.29	0.34	0.35	0.34
最大カビ臭物質濃度 水質基準比率(月毎)	20	10	0	10	20	30	20	20	10	10	20	10

※1水質基準値に適合しない検査の回数の割合 : (水質基準不適合回数 / 全検査回数) × 100

※2残留塩素濃度の平均値 : (残留塩素濃度合計 / 残留塩素測定回数)

※3カビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合 : (最大カビ臭物質濃度 / 水質基準値) × 100

令和2年度完成施設(都台ポンプ場)

◎平成30年度～令和2年度施工◎



令和2年度完成施設(都台ポンプ場)

◎平成30年度～令和2年度施工◎

高架水槽



ポンプ圧力のインバータ制御により不要となり撤去

受水槽



耐震化



令和2年度完成施設(都台ポンプ場)

◎平成30年度～令和2年度施工◎

ポンプ設備



現在施工中の施設(投松ポンプ場)

◎平成30年度～令和3年度◎



建築工事



土木工事

施工前



機械設備工事



電気設備工事

現在施工中の施設(福留配水池)

◎令和2年度～令和4年度◎



施工中



外壁の塗り替えイメージ

昭和62(1987)年から供用開始。配水池の耐震化と設備の更新を行います。合わせて外壁の塗装を一新します。

福留配水池
耐震化更新工事(No.1配水池)
工事費およそ11億円



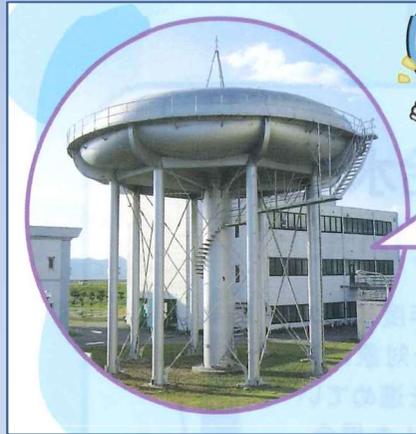
施工中



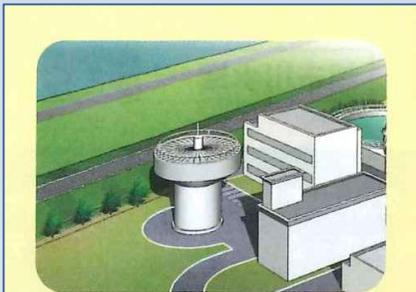
配水池の内部

現在施工中の施設(中西条浄水場高架水槽)

◎令和2年度～令和4年度◎



中西条浄水場
高架水槽更新工事
工事費およそ8億円



完成イメージ

昭和49(1974)年から供用開始。耐震化のため高架水槽を建て替えます。



現在施工中の施設(中西条浄水場2次濃縮槽)

◎令和2年度～令和3年度◎



中西条浄水場2次濃縮槽
耐震化更新工事
工事費 およそ4億円



加古川市水道ビジョン

【施設の更新・耐震化】の目標における令和2年度の実績値

<浄水施設の耐震化率>

対象施設	浄水施設能力 (m3/日)	水源	耐震化の状況	
			R1	R2
中西条浄水場 ※1	38,100	表流水	×	×
	7,200	地下水	×	×
神野水源地	4,800	地下水	×	×
東神吉水源地	5,700	地下水	○	○
西部水源地	2,500	地下水	○	○
中津水源地	4,300	地下水	×	×
大野水源地	5,300	地下水	×	×
		耐震化済	8,200	8,200
		全浄水施設	67,900	67,900
		耐震化率	12.1%	12.1%

<配水池の耐震化率>

施設名	有効容量 (m3)	耐震化の状況	
		R1	R2
投松配水池	3,000	○	○
宮山配水池	1,000	×	×
大野配水池	5,000	×	×
都台配水槽 ※2	70	-	-
細工所配水池	120	×	×
城山配水池	10,000	○	○
福留配水池 ※3	55,600	×	×
東神吉配水池	3,400	○	○
上原配水池	500	○	○
	耐震化済	16,900	16,900
	全配水池	78,690	78,620
	耐震化率	21.5%	21.5%

:耐震化済の施設
 :耐震化工事施工中の施設
 :令和2年度完了

※1 中西条浄水場:場内各施設において耐震化工事施工中

※2 都台配水槽:令和2年度 耐震化・更新工事完成に伴い廃止

※3 福留配水池:令和2年度～令和4年度 No.1 配水池耐震化工事施工中

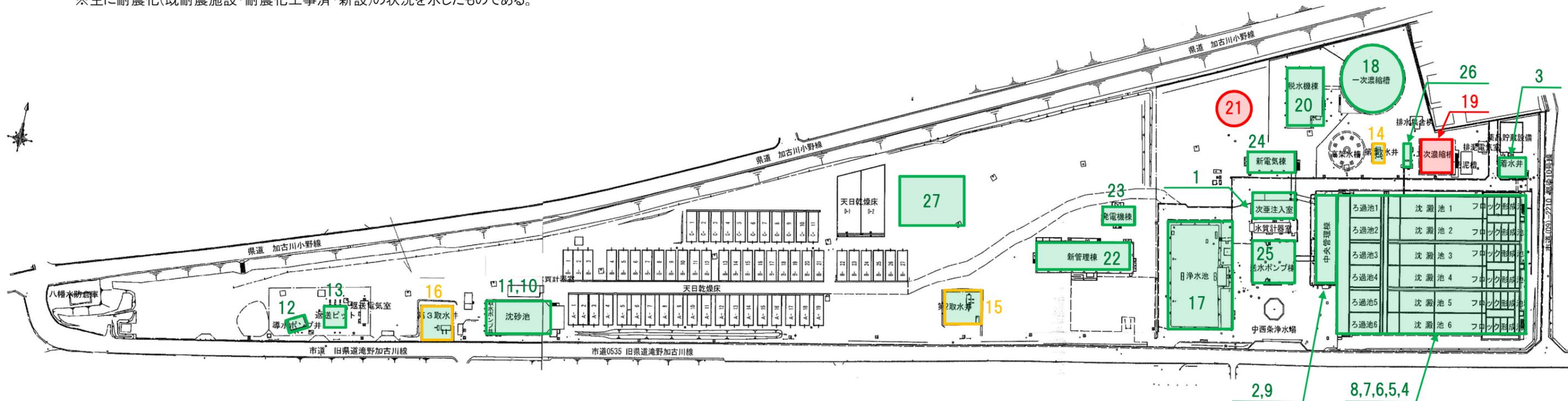
施設名			
1	次亜注入設備	11	取水ポンプ井
2	浄水施設棟	12	導水ポンプ井
3	着水井	13	返送ピット
4	急速攪拌池	14	第1取水井
5	フロック形成池	15	第2取水井
6	沈澱池	16	第3取水井
7	急速ろ過池	17	浄水池
8	管廊・浄水渠	18	1次濃縮槽
9	送水ポンプ井	19	2次濃縮槽
10	沈砂池	20	脱水機棟
21	高架水槽		
22	管理棟		
23	発電機棟		
24	電気棟		
25	送水ポンプ棟		
26	酸注入設備		
27	洗浄排水池		

<中西条浄水場耐震化状況概略図(令和2年度実績)>

※当該図面に表示する施設は概略を示したものであり、すべてを表示したものではありません。

19 : 2次濃縮槽 ⇒ 工事施工中(令和2年度~令和3年度)
 21 : 高架水槽 ⇒ 工事施工中(令和2年度~令和4年度)
 (高架水槽は新たに別場所に更新のうえ既存施設は撤去)

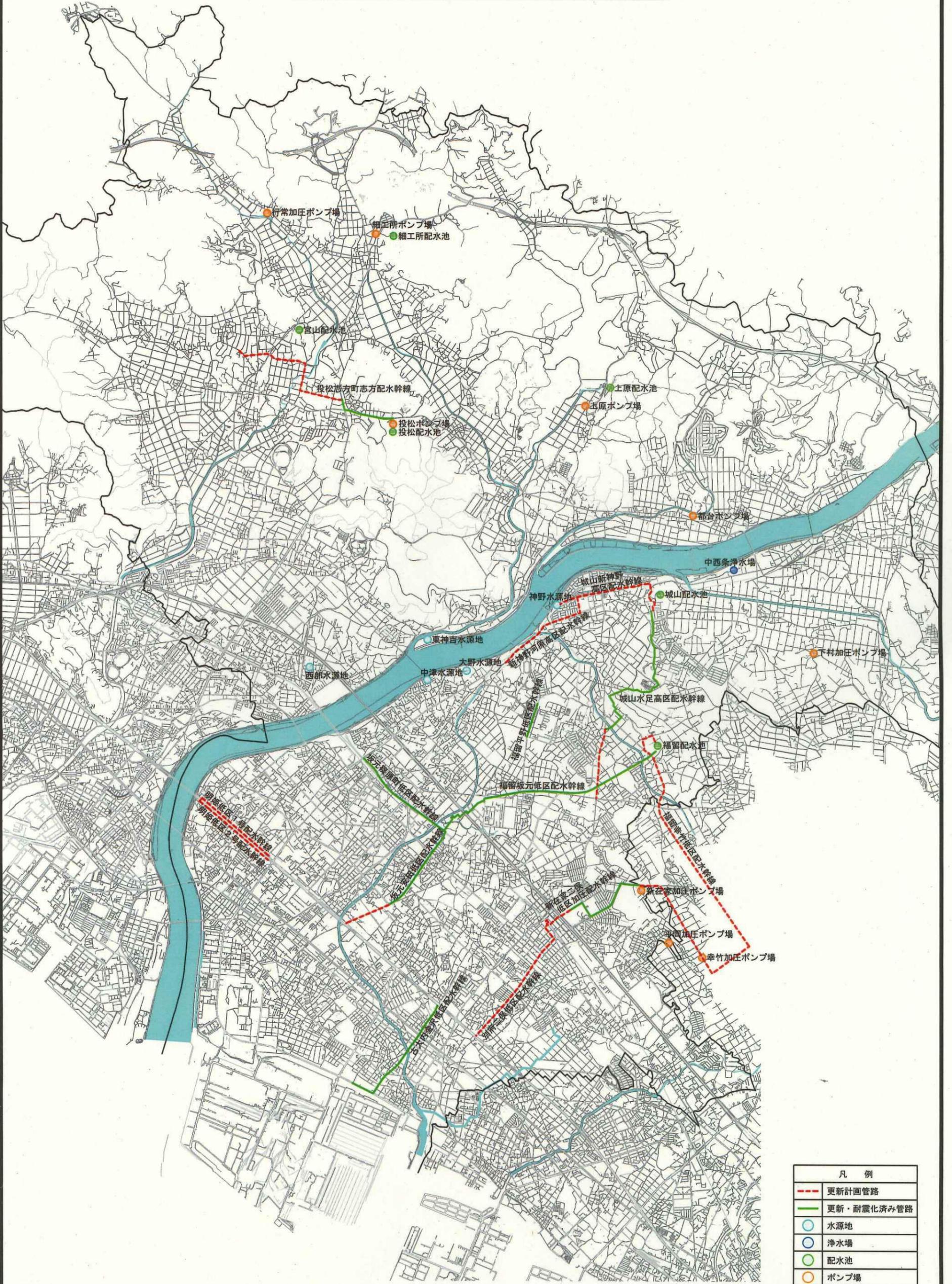
※主に耐震化(既耐震施設・耐震化工事済・新設)の状況を示したものである。



《凡例》

- : 耐震化工事が必要な施設
- : 耐震施設
- : 耐震施設で設備更新が必要な施設

基幹管路の更新（耐震化）計画



凡例	
---	更新計画管路
---	更新・耐震化済み管路
●	水源地
●	浄水場
●	配水池
●	ポンプ場